

前

国

語

人間文化学部

生活デザイン学科

人間関係学科

国際コミュニケーション学科

地域文化学科

(60分)

(90分)

注意事項

- 1、解答開始の合図があるまで、この問題冊子および解答冊子の中を見てはいけません。
また、解答開始の合図があるまで、筆記用具を使用してはいけません。
- 2、問題は3題で、13ページありますが、志望する学科によって解答する問題が異なるので注意ください。指定されていない問題を解答しても採点しません。
- 3、生活デザイン学科・人間関係学科・国際コミュニケーション学科を受験する者は、第1問・第2問を解答しなさい。
い。地域文化学科を受験する者は、第1問と第3問を解答しなさい。

この注意事項は、問題冊子の裏表紙に続きます。問題冊子を裏返して必ず読みなさい。

第1問

次の文章を読んで、後の問い(問1～4)に答えよ。

岡田美智男「コミュニケーションに埋め込まれた身体性―ロボット研究からのアプローチ―」

『言語』第四四三号、大修館書店、二〇〇八年（より一部改変）

注 ロッソマン……社会学者。

entrusting behavior……他者に身を委ねた振る舞い。

grounding……文え。

問1 傍線部ア〜オのカタカナを漢字に直せ。楷書ではつきりと書くこと。

問2 傍線部①「モノ」的なアプローチと「コト」的なアプローチとあるが、本文では「モノ」と「コト」が別の表現でも対比されている。「モノ」と「コト」に該当する最も適切な一語をそれぞれ抜き出せ。

問3 傍線部②「大地との信頼関係」とあるが、この「信頼関係」がなぜ成立するのか、本文中の表現を用いて八〇字以内で説明せよ。

問4 本文の内容に合致するものを次の中からすべて選び、番号で答えよ。

- 1 ロボットのような機械は本来モノであるため、たとえヒトの容姿をしていて、挨拶に応答できたとしても、社会的な存在にはなれない。
- 2 私たちがロボットの挨拶に対して応答責任を感じないのは、その発話が自己完結していて私たちの存在を前提としていないからである。
- 3 ロボットや生まれたばかりの赤ちゃんとは異なり、見知らぬおばちゃんは、実際に会話に加わってくるため、社会的な存在である。
- 4 メッセージを上手に伝えようとして、その構造や機能を探ることが、メッセージを「モノ」ではなく「コト」として捉えることになる。
- 5 「観察者の視点」と「行為者の内なる視点」があり、後者の視点からは、コミュニケーションの「コト」的な要素を見ることが出来る。
- 6 コミュニケーションには、明確な意味を担うメッセージを効率よく相手に伝える必要があるが、それがロボットには実現できていない。

第2問

次の文章を読んで、後の問い(問1～4)に答えよ。

ロバート・ヴェンチュリー『建築の多様性と対立性』（伊藤公文訳）、鹿島出版会、二〇二一年 第二刷（一九八二年 第一刷）より一部改変

注 フランク・ロイド・ライト、コルビュジエ、ミース・ファン・デル・ローエ、ポール・ルドルフ、ルイス・カーン、アルヴァ・アアルト……建築家。

純粋主義……芸術に普遍的な規則を求め、比例と幾何学によって明快な構成をつくりあげようとするもの。

オーギュスト・ヘックシャー……批評家。

パヴィリオン……ここでは「建築物」の意。

マニエリスム……一六世紀中頃から末にかけて見られる後期イタリア・ルネサンスの美術様式。

〔中略〕の部分には、主に事例が述べられている。

問 1 傍線部①で「現代建築家は、ほとんど例外なく曖昧さを避けているのだ」と述べられているが、現代建築家がそうする理由を三〇字以内で記せ。

問 2 傍線部②で述べられていることに対して、筆者の立場を最も端的に表した一文を抜き出せ。

問 3 問 2 で抜き出した一文について、筆者はなぜそのように述べているのか、その理由を傍線部以外の本文中の語句を用いて二〇字以内で説明せよ。

問 4 傍線部③「この姿勢」とあるが、どのような姿勢を指しているのか、その具体的な内容を本文中の語句を用いて六〇字以内で記せ。

第3問 次の文章を読んで、後の問い(問1～6)に答えよ。

十五日、明くれば発つ。昨日送りし者ども帰らむとすれば、袖の中にも入りやしぬらむ心地も、ありとしもなし。強ひて都の方を顧みれば、雪いと白き山の峰の村雲に、月薄く残りたるしも悲し。

明け残る光も薄し雲迷ふ都の方の山の端の月

老蘇の森といふ所にて、

かつ見てもよそに思ひし森の名も我が身に積る霜の下草

山の前といふ所は、駒の蹄隠るる程なる水を、流れのままに十余町もや行くらむ。踏み上げらるる水の騒ぎに、いたく袖は濡れぬ。古き歌に「そふ」といへるは、かやうなる心にや。

旅衣下り立つ田子にあらねども都恋路に袖は濡れつつ

さる程に時雨降り来ぬ。この暁の曇りつる気によ。

鏡山この暁の曇りしや今日の時雨の始めなりけむ

昼、愛知河といふ所に立ち入る。つくづくと思ひ出づれば、ただ今は御学問の程にや。下り侍らずは、廂に出御待ち顔にて、ながめ居ましとまでおぼゆるぞ、あまりけしからぬ心なるや。河瀬といふ渡りの道、ありつる時雨や過ぎつらむ、たとしへなく悪し。人も馬も足の踏み所もなく、すべりて悪きに、この旅人なむ空蟬の伊予守よりもこよなう太りたるに、馬はいと足弱きに、危なげなれど、さしもやと思ひたゆみて、猶来し方のごと思ひ続け行くに、片高なる所の、殊に滑るに、馬なじかはたまらむ、四つの足を一つになして倒れぬ。この上傾きの太り翁、さるは若盛り少しかやうのご慣れにければ、あはたたしさながら、下り立ちけるが、我も足踏みためずして、倒れにけり。蓑代衣、袖もしとごになりぬ。あさましく、をかしけれど、いかにせむ。さて、異馬に乗り替へてぞ行きける。犬上といふ所にて、鳥籠の山・不知哉河など尋ぬれど、その渡りの民し、「河原やうの物も知らず」となむいふ。昔或者これかれなど申し侍りしも、老いの埋れに忘れにけり。「いさと答へよ」と天の帝の宣は

せけるも、見てこそ忍ばまほしけれど、甲斐なし。小倉といふ里の名ぞ都の西山おぼえて、住み慣れしことさへ思ひ出でらる。又時雨して、御笠も取り敢へず濡る。晴れ曇り、神無月ならねど、空定めなし。暮るる程に、摺針山をよぢ登りて、暗めにぞ番場の宿には着きぬる。今日の道の悪しさに、やがて打ち臥しぬれば、寝るがうちはただもとの都にて、醒むる空ぞ旅の宿り、いと口惜しき。山も三つまで隔てぬれば、眺めやる方なし。又うちまどるめば、ただ故郷なり。

草枕夢にぞ見ゆるふるさとの妹が寢覚に我や恋ふらむ

君や来る我や行くらむ草枕旅寝の夢にあひ見つるかな

『春の深山路』より一部改変

注 老蘇の森・山の前・愛知河・河瀬・犬上・鳥籠の山・不知哉河・小倉・摺針山・番場……いずれも近江国の地名。

蓑代表……蓑の代わりに雨よけに用いる衣。

問1 傍線ア「我が身に積る霜の下草」について、霜の積もった下草に見立てられているのは何か記せ。

問2 傍線イ・ウ・カの漢字の読みをひらがなで記せ。

問3 傍線エ「ありつる時雨や過ぎつらむ、たとへなく悪し」を現代語訳せよ。

問4 傍線オ「かやうのこと」とは何のことを指しているのか記せ。

問5 傍線キ「いと口惜しき」と筆者が述べているのはなぜか。簡潔に説明せよ。

問6 『春の深山路』は中世成立の作品である。次の中から中世(鎌倉・室町時代)成立の作品をすべて選び、番号で答えよ。

- | | |
|---|-------|
| 1 | 十六夜日記 |
| 2 | 竹取物語 |
| 3 | 去来抄 |
| 4 | 紫式部日記 |
| 5 | 曾我物語 |
| 6 | 十訓抄 |

- 4、解答開始後、解答冊子の表紙所定欄に受験番号、氏名をはっきり記入しなさい。表紙にはこれら以外のことを書いてはいけません。
- 5、解答は、すべて解答冊子の指定された箇所に記入しなさい。解答に関係のないことを書いた答案は無効にする場合があります。
- 6、解答冊子は、どのページも切り離してはいけません。
- 7、試験終了後、問題冊子は持ち帰りなさい。解答冊子を持ち帰ってはいけません。